

# 建設工事契約法

笠井 修

## 担当編集から

平成29年の民法改正では債権関係全体にわたって改正がなされました。請負契約もその例外ではありません。建設工事契約はその多くが請負契約であり、改正によって大きな影響を受けました。また、同改正に伴い、各種の請負契約約款も改正されました。建設工事契約に関する裁判例の膨大な蓄積もあります。

本書では、建設工事契約を取り巻く最新の法令や約款、裁判例について、建設工事の実態からかけ離れることなく、理論的・総合的に解説しました。

建設工事請負契約の成立、履行過程、契約違反、中途終了の各問題はもちろんのこと、建設工事における履行の確保、消費者保護、ジョイントベンチャーやパートナーリングといった多数企業体に関する法規範、建設工事契約をめぐる紛争の処理手段についても言及しています。

社会における実際の場面で民法などの法律がどのように働いているのかについて触れることができますから、教科書や体系書を読むのとはまた違った勉強ができるものと思います。(山下)

## Point

各章扉に詳細な細目次があり、参照したい箇所にとりつきやすくなっています。

第1章 建設工事契約の法的性質と適用規範

第2章 建設工事契約の成立と規制

第3章 建設工事契約の履行過程

第4章 建設工事契約の違反と救済

第5章 建設工事契約の中途終了をめぐる法律関係

第6章 建設工事契約の履行の確保と当事者の破産

第7章 建設工事における消費者保護

第8章 多数企業による建設工事請負

第9章 建設工事における多様な紛争処理手段

# 建設工事契約法

笠井 修

## 債権法改正後の最新法理に基づく解説

(主な解説法・約款) 民法、公共工事標準請負契約約款  
民間(七会)連合協定工事請負契約約款  
建設業法、住宅品確法、住宅瑕疵担保履行法

有変図

レベル	用途	対象
上級	研究 実務	研究 法曹 法務

2023年1月発売/444頁/定価5720円(税込)

A5判/並製



詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。